中学歴史プリント（書き取り）
飛鳥時代 No.12

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／21

1. 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
2. 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
3. 推古天皇のもとで大臣（おおおみ）として、聖徳太子とともに政治を行った有力豪族は誰？
4. 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？
5. 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
6. 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？
7. 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
8. 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？
9. 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？
10. 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
11. 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？
12. 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
13. 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
14. 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？
15. 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
16. 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
17. 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
18. 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？
19. 聖徳太子や蘇我氏が中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？
20. 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？
21. 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「飛鳥時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.12 飛鳥時代

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	672年に勃発したこの内乱は「壬申の乱」と呼ばれます。	壬申の乱	□
2	607年に小野妹子らが派遣されました。	遣隋使	□
3	推古天皇が即位すると、聖徳太子が摂政となり、馬子とともに新しい国づくりを主導しました。	蘇我馬子	□
4	天武天皇は、即位後に天皇中心の政治体制を整えました。	天武天皇	□
5	604年に制定されました。	十七条の憲法	□
6	奈良県には法隆寺のほか、飛鳥寺や山田寺などの初期仏教寺院が建てられ、大陸文化の影響を受けた美術が発展しました。	奈良県	□
7	大海人皇子は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。	大海人皇子	□
8	渡来人たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。	渡来人	□
9	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。	中央集権	□
10	律令制度とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。	律令制度	□
11	604年に聖徳太子によって制定された「十七条の憲法」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。	十七条の憲法	□
12	冠位十二階は、役人に能力や功績に応じて12段階の位を与え、それぞれ色分けされた冠を身につけさせる制度です。	冠位十二階	□
13	渡来人は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。	渡来人	□
14	天智天皇は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。	天智天皇	□
15	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。	公地公民	□
16	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を律令制度といいます。	律令制度	□
17	仏教は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。	仏教	□
18	604年に制定された十七条の憲法は、仏教や儒教の考え方を基盤に、役人が守るべき心構えを説いたものです。	十七条の憲法	□
19	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。	飛鳥文化	□
20	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「大化の改新」を開始しました。	大化の改新	□
21	法隆寺は奈良県生駒郡斑鳩町に位置し、7世紀初頭に聖徳太子が建立したと伝わります。	法隆寺	□

言えなかった用語ノート